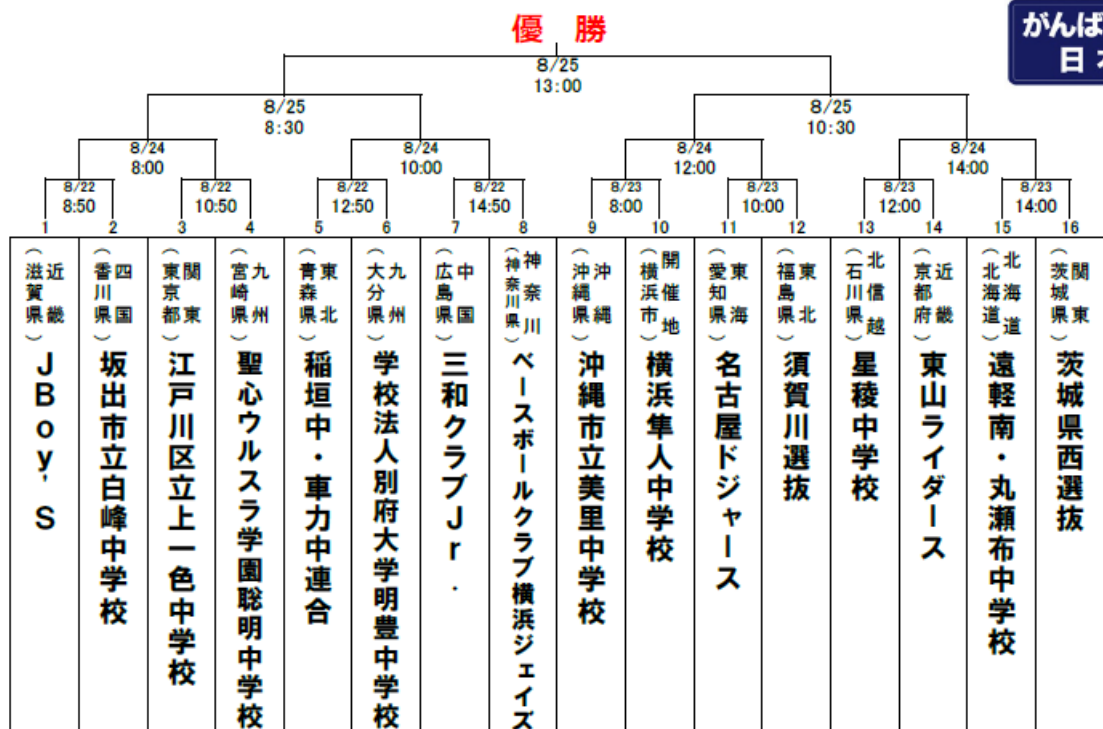


第39回全日本少年軟式野球大会開催！

今年で39回目を迎える『全日本少年軟式野球大会』は、中学生軟式野球界の“甲子園”として、全国12ブロックの予選大会を勝ち上がった中学生軟式野球チームが優勝を目指します。
過去の大会出場者には、本場アメリカで活躍した元メジャーリーガーや多くのプロ野球選手もおり、今年では3年ぶりに横浜スタジアムを舞台に、未来のスター選手が熱戦を繰り広げます！
取材をご希望の方は、直接、横浜スタジアム1階関係者入口までお越しください。

日程	令和4年8月22日（月）～25日（木）4日間
会場	横浜スタジアム
出場チーム	16チーム (全国12ブロックから選抜された中学生軟式野球チーム)
開会式	令和4年8月22日（月）午前8時～
主催	公益財団法人全日本軟式野球連盟・横浜市
後援	スポーツ庁・横浜市教育委員会・神奈川新聞社・ スポーツニッポン新聞社・全国新聞社事業協議会



【 参 考 】

「第39回全日本少年軟式野球大会に係る新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」(抜粋)

<報道関係者の感染予防対策>

- 取材以外での選手・チーム関係者との接触・会話等は控えること。
- 感染予防対策(マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンス等)を十分に行い取材を行うこと。
- 「健康チェックシート(来賓・報道関係者用)」を試合当日、大会本部に提出する。
健康チェックシートにおいて、体温が37.5℃以上あった者は球場への入場を禁止する。その場合、自宅または宿泊施設に当該者は戻ること。戻るときは、原則公共交通機関は使用しないこと。
また、同チェックシートの質問に「有」とチェックがあった者の球場への入場可否については、大会主催者が協議して判断する。
- 球場入口にて検温を行い、37.5℃以上あった場合は球場への入場を禁止する。
球場入口での検温時に、発熱が発覚した場合は、原則公共交通機関以外の手段で宿泊施設または自宅に戻るか、病院を(必ず受診前に医療機関に応需の可否を電話で確認した上で)受診すること。
なお、移動の際は、他者と接触しないように配慮すること。
- 球場入口にて手指消毒を行い入場する。
- 球場内は、飲食時以外はマスク着用とする。
- 記者席等においては、定期的に換気し、座席は間隔を空け、安全な距離を確保する。(2m～最低1m)
- 原則、取材は室内ではなく屋外で且つ気候に配慮した場所で行うこと。
- 取材の際は、必ずマスク着用で2m～1mの距離を確保すること。
- 複数人をまとめて取材する場合は、密にならないように安全な距離をそれぞれ確保すること。
- 各社、取材後にチーム名と取材対象の氏名、取材方法(電話・対面・オンライン等)を大会本部に報告すること。
《取材報告フォーム》※全日本軟式野球連盟ホームページ
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdJediNQjMjEKHFjGxRrtDCszz8hTEJB5OEBU6AJLXEQTcwqQ/viewform>
- 複数の記者やカメラマンが選手やチーム関係者に密集しないように配慮すること。
- 記者ならびにカメラマンは、所属が判別できるように、ビブスや腕章、IDカードを常時着用すること。
- 取材後、1週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに大会本部(045-681-1189)に連絡すること。

お 問 合 せ 先

市民局スポーツ振興課 担当課長 宮里 弘美 Tel 045-671-3201